



紀伊国屋NY本店特別展「麗しの明治伊万里」のご案内

made on September 10, 2010

開催趣旨

優美で精巧な明治伊万里。その潤いにみちた名品の完全復刻と400年の伝統を受け継ぎ新たなスタイルに挑戦する陶工たちと窯、並びに作品の紹介を通じて、日本の美と伝統工芸の「現在」を、広くアメリカ市民に伝える展示会です。

ごあいさつ

時は19世紀末。アメリカ合衆国ペリー提督の来航から間もない、開国ニッポンの黎明期、優美で精巧な日本製の陶磁器が世界を魅了していました。欧州では、ジャポニズムが人気を博し、浮世絵をはじめ日本の伝統工芸品がもてはやされた時代です。当時の世界博覧会では、ドイツのマイセン、フランスのセーブルをも凌ぐ高い評価を得て、欧米人を最も喜ばせたのが、和と洋の意匠が独創的な伊万里焼、すなわち「明治伊万里」です。西洋スタイルの洋食器や装飾品に日本伝統の花鳥風月を描き込んだ「明治伊万里」は、パリやウィーンの万博でも好評を博し、後のアールヌヴォーに少なからず影響を与えたといわれています。

近代化を押し進める日本政府が、国をあげて輸出奨励する中、1879年、肥前有田の地に大望を抱いた陶工たちによって、輸出品を主目的とする「精磁会社」が誕生しました。その名前には、精妙・精緻な物作りを目指す心意気が込められ、その名の通り、「精磁会社」の製品は1883年、アムステルダム万国博覧会では金賞を獲得します。

卓越した伝統技術と欧米の先端技術を融合し、「古伊万里」でも、「柿右衛門」でも「鍋島」でもない、和魂洋才の様式美を生み出します。しかし、この「精磁会社」は、数少ない名品を後世に残し、わずか十余年で消滅、ひとびとの記憶からも消えました。

2016年、伊万里・有田焼の歴史は、発祥400年を迎えます。その節目を前に、先人たちの知恵に学び、失われつつある伝統の技術を取り戻すべく、かつて世界の頂点を極めた「精磁会社」にかかわった名工たちの作品を復刻するプロジェクトが生まれました。次世代に向けて、熟練した職人技の継承と、品位ある新たな高付加価値製品の創出を目的に、進化と挑戦を続けています。

このたび、株式会社紀伊国屋書店のご厚意により、その成果を初めて海外において公開できることになりました。米国での展示会にちなんで、1876年アメリカ合衆国独立100周年記念のフィラデルフィア万博に出品された花瓶、また1882年ボストンのアーサー・フレンチ商会の指導のもと「精磁会社」が完成させた日本初のディナーセットの一部も復刻展示します。

どうぞ、心ゆくまで麗しの日本磁器と伝統工芸の技をお楽しみください。

明治伊万里復刻プロジェクトプロデューサー：西城鉄男
有田製窯株式会社代表取締役：松本 哲

19世紀末世界を魅了した日本磁器を復刻！

麗しの明治伊万里

Meiji Iwamori Renaissance

- 会期 2010年10月23日(土)～11月7日(日)
月～土曜日 10:00～20:00 日曜日 11:30～19:30
- 会場 米国紀伊国屋書店NY本店 2階展示場
1073 Avenue of the Americas, New York, NY 10018
TEL) 212-869-1700 FAX) 212-869-1703
- 主催 米国紀伊国屋書店
有田製窯株式会社&明治伊万里復刻プロジェクト
- 共催 佐賀県有田町
JC有田
- 協賛 宗政酒造株式会社
山下工芸株式会社
エム・テック株式会社
- 協力 株式会社窯品計画
有限会社朝重デザイン
辻調理士学校
- 会場デザイン 大寺康夫 (JIN Woodscaps 建築家)
オダイラ・ヒロ (Precious Pieces 和紙デザイナー)

エム・テック株式会社
山下工芸株式会社
宗政酒造株式会社
有田製窯株式会社
明治伊万里復刻プロジェクト

<http://www.mtec-con.co.jp/>
<http://www.takebitto.com/>
<http://www.nonnoko.com/>
<http://www.aritaware.com/>
<http://www.meiji-imari.com/>

Meiji Imari Renaissance

19世紀末世界を魅了した日本磁器を復刻!

麗しの明治伊万里

